

表 2 濃集部の Ge 含有量と比重および石炭組織成分との関係

濃集部試料	Ge ppm		比重別試料		組織成分 %									
	炭分 %	Ge ppm	比重	取量 %	炭分 %	Ge ppm	ピト	ラッ	アラ	ド	フ	ソ	フ	炭質
上	64.9	1.8	-1.7 +1.7	25.5 74.5	31.17 59.30	15.8 2.0								
天	14.5	16.3	1.4~1.5 1.5~1.6 -1.6	3.3 19.9 76.8	16.30 18.77	15.8 12.5 8.3	20 14 3	44 28 15	31 49 59	5 8 7				1 16
盤	12.0	1.8	1.3~1.4 1.4~1.5 -1.5	14.9 41.4 43.7	14.9 16.66 20.37	3.2 1.8 1.3								
上	18.5	3.0	-1.2 -1.2	60.0 40.0	18.62 22.75	2.8 2.8								
二	22.7	17.8	1.3 1.3~1.5 -1.5	19.7 36.3 44.0	19.89 21.76 25.84	20.0 16.5 9.0	35 21 4	38 32 16	18 34 48	9 10 12				3 20
枚	59.2	3.5	1.7 -1.7	12.5 87.5	31.03 45.75	5.0 3.0								
下	33.52	9.3	1.4~1.5 -1.5	73.0 27.0	22.90 41.60	7.3 3.8	※印は							
盤	34.65	6.0	1.3~1.4 1.4~1.5 +1.5	7.2 88.6 4.2	7.74 10.38 34.70	55.0 56.0 22.5	※3図 天狗上二枚盤濃集部 の試料							
上	11.08	45.0												
中														
山														
木														
層														
際														

が増加する。従つて濃集部の中でもピトリット質の多いものほど、ゲルマニウムの濃集度は大きいといふことができる。(表2表および表5図写真(3)〔下段〕参照)

最上炭田にはどれ位のゲルマニウムが期待できるか

いま中山・天狗両炭田の稼行炭層中のゲルマニウムの濃集部を対象にして、ゲルマニウムの量を現在の出炭量をもとに計算すれば、両炭田でそれぞれ月に 10 kg および 4 kg の金属ゲルマニ

ウムが石炭と共に採掘されていることになる。

最上炭田の他の炭田についてはまだ平均ゲルマニウム含有量を出すまでに至っていないので、炭田全体としてのゲルマニウムの量は今後の調査にまたねばならない。

しかし炭層の上・下盤際のゲルマニウム濃集部のみを選択的に採掘するのは容易なので、これら濃集部のゲルマニウムは資源として注目に値するものと信ずる。

今後に残された問題

ゲルマニウムは炭層中にどのように

分布するかはわかつてきたが、炭層中のゲルマニウムは

- 他の炭田や異なる炭層についても同様の賦存状況を示すかどうか？
- どんな径路をたどつて現在のように炭層中に濃集されたか？
- 炭層中にどんな形で含まれているか？

などは今後早急に解明しなければならぬ問題である。

さらに炭層中のゲルマニウムを経済的に抽出・回収するには、どうすればよいかということも上記の問題と共に考えねばならぬ大きな問題である。(燃料部 石炭課)

1 千万分の 1 世界地質図書出版計画について

世界各国の地質学者と地質技術者が協同して、最新の知識に基く世界地質図の編集・出版の事業に励みつつあることは既に御存知かと思いますが、この事業は国際地質学会 (International Geological Congress) によつて企てられ、同学会内に設けられた世界地質図委員会 (Commission for the Geological Map of the World) によつて推進されており、現在までに 500 万分の 1 縮尺によるアフリカその他の地質図の出版を終り、近く世界の全地域が同じ縮尺の地質図によつて塗りつぶされる予定になつております。

さて上記の委員会では 500 万分の 1 地質図編さんに続く新たな企画として標記の 1,000 万分の 1 世界地質図書 (International Geological Atlas) の出版計画を発表しましたが、これについて委員長 F・ブロンデル博士は次のような配慮をしています。

- ① 従来、この種の地質図書は充分な科学的権威に基き出版されたものがないので、Oxford Atlas を参考とし新たな出版を計画した。
- ② 地質図書出版の事業は財政的にかなりの困難を伴い、最低 5,000 部の需要の見透しがなければならぬ。また、この条件での 1 冊当りの価格は約 10 ポンド (1 万円) 程度のものとならう。
- ③ 前述の事情であるが、この出版計画へ原則的に賛成してもらえるであろうか？ 編集にあたり協力願えるであろうか？

地質調査所は国際地質学会と協力し、この種事業に當つてきた関係もありますので、ここにブロンデル博士の意向を伝えて、各位のきたんない御意見・御教示をお待ちする次第であります。(企 画 課)

【註】 この計画についてのお尋ねは下記へどうぞ

東京都新宿区河田町 3

地質調査所東京分室 企画課 調査係 宛